

第4学年 外国語活動学習指導案

日 時 令和2年11月6日(金) 公開授業 I
 児 童 4年1組 男10名 女17名 計27名
 指導者 HRT 本 明 暁 子
 ALT Robert Jones
 場 所 4年1組教室, 3階ホール

1 単元名 Unit7 What do you want? ほしいものは何かな? (Let's Try! 2)

2 単元について

本単元では、欲しい食材を尋ねたり答えたりする表現について慣れ親しみ、おすすめのオリジナルピザメニューを紹介する。4年生の外国語活動も後半に入り、今まで英語の発音や基本的な表現に慣れ親しみ、友達やHRT及びALTと簡単なコミュニケーションを図る体験を積み重ねてきている。そこで、本単元では、児童同士で二往復以上のやり取りをするように活動を設定することにより、言葉で通じ合うことの楽しさを感じることができると考える。二往復以上のやり取りを実現するために、題材を児童の興味・関心が高い「食材」とした。果物や野菜などの日常生活で使用する身近な食材を用いることで、積極的に自分のピザに必要な食材などを伝え合い、外国語活動を楽しむことができる題材といえる。欲しい食材を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しみながら、自分のオリジナルピザに必要な食材について積極的に尋ねたり答えたりして、自分の理想のオリジナルピザメニューを紹介しようとする姿を目指したい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

おすすめのオリジナルピザメニューを紹介するために、さまざまな食材の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知り、その言い方に慣れ親しみ、欲しい食材や個数を尋ねたり答えたりしようとする。また、相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルピザを伝え合おうとしている。

(2) 学習到達目標との関連

| | |
|----------------------------------|--|
| 4学年の到達目標 | 英語にふれて楽しみ、自分のことを伝えたり、友だちに尋ねたり答えたりしている。 |
| 聞くこと Listening | さまざまな食材の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を理解しようとしている。 |
| 話すこと(やり取り) Spoken Interaction | 友だちと欲しい食べ物を尋ねたり答えたりして、オリジナルピザを伝え合うことができる。 |

(3) 単元の評価規準

| 観 点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|---|--------------------------------------|
| 聞くこと | さまざまな食材を表す語や、“What do you want?” “I want ~.”などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 | 学級の友だちとオリジナルピザを伝え合うために、さまざまな食材を表す語や欲しい食べ物を尋ねたり答えたりする話を聞いて意味が分かっている。 | 相手の考えた食材を意識しながら、オリジナルピザの紹介を聞こうとしている。 |

| | | | |
|----------------|---|--|---|
| 話すこと (やり取り) | さまざまな食材を表す語や，“What do you want?” “I want ~.” などの表現を用いて，欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 | 学級の友だちとオリジナルピザを伝え合うために，相手意識をもって，欲しい食べ物を尋ねたり答えたりしている。 | 学級の友だちとオリジナルピザを伝え合うために，相手意識をもって，欲しい食べ物を尋ねたり答えたりして紹介し合おうとしている。 |
|----------------|---|--|---|

4 児童について

本学級は，英語への関心が高く，ALTとも積極的に関わろうとしている。普段の授業では，リズムに合わせて身体を動かしたり，発音したりして外国語活動を楽しんでいる。また，英語を使ったゲームが大好きで，ゲームを通して友だちと触れ合いながら外国語に慣れ親しんでいる。しかし，これまでの生活経験や英語に対する意識には個人差があり，知っている英語の単語を進んで話したり，聞こうとしたりする児童もいれば，話したい気持ちはあるものの，自信がもてずなかなか声を出せない児童もいる。そこで，繰り返し話したり，聞いたりさせながら自信をもって活動できるよう支援する必要がある。

5 指導にあたって

本単元で扱うたくさんの英単語や表現に触れ，チャンツやゲームを通して楽しみながら学習を進めていきたい。その際，さまざまな食材の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませたい。

本単元のゴールを「自分のオリジナルメニューを紹介しよう！」と設定し，単位時間毎の学習に興味をもたせていく。その際，扱う表現や単語が児童の負担にならないよう，語彙数を精選し，スモールステップで学習していく。二往復以上のやり取りを実現するために扱う表現は，“What do you want?” “I want ~, please.” だけではなく，“How many?” や “Do you like~?” など，これまでに慣れ親しんだ表現を十分に扱う場面を設定したい。欲しい食材について相手意識をもって尋ねたり答えたりする活動や，単元の最後の児童が実際に考えたオリジナルのピザメニューや使った食材について友だちに紹介したりする活動の中で，言葉で通じる楽しさを味わわせたい。

また，本校の英語学習のキーワードである『SHARE』の中では，S・H・Eの他に，高学年へ向けて「Respect」も意識させたいと考える。さらに，本単元では，答え方をフレーズではなく文表現で答えさせたい。このことは，5年生以降での教科学習における文構造への気付きにつながっていくものと期待される。

6 単元の指導計画と評価計画（5時間扱い）

| 時 | 目標◆・活動○ | 評 価 | | | |
|---|--|--------|-------------|--------|---|
| | | 知 技 | 思 判 表 | 態 度 | 評価規準<評価方法> |
| 1 | ◆ さまざまな食材の言い方を知る。 | | | | |
| | ○Let's Watch and Think(P.26~27) ○オリジナルチャンツ ○キーワードゲーム ○ポインティングゲーム(P.26~27) | | | | 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。 |
| 2 | ◆ 欲しいものを尋ねたり答えたりする言い方を知る。 | | | | |
| | ○オリジナルチャンツ ○キーワードゲーム ○マッチングゲーム ○テレフォンゲーム | | | | 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。 |

| | | | |
|--|---|---|---|
| 3 | ◆ 欲しい食材を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。 | | |
| | ○オリジナルチャンツ ○ビンゴゲーム ○Mission Game | | 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 |
| 4 本時 | ◆ 欲しい食べ物を尋ねたり答えたりしようとしている。 | | |
| | ○オリジナルチャンツ ○テレフォンゲーム ○Let's Go Shopping | や | や |
| ◎What do you want? I want ~.などの表現を使って、尋ねたり答えたりしている。<行動観察・ハンドアウト> ・児童が書く様子や記述分析から、評価 | | | |
| 5 | ◆ オリジナルピザを伝え合おうとしている。 | | |
| | ○オリジナルチャンツ ○ビンゴゲーム ○P I Z Z A紹介 | や | や |
| ◎This is ~. I like ~,~,~.I like~. Do you like~? などの表現を使って、友だちとオリジナルピザを紹介し合う。 <行動観察・ハンドアウト> ・児童が書く様子や記述分析から、評価の記録を残す。 | | | |

7 展開

| | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---------------------------|
| 単元名 | Unit7 What do you want? ほしいものは何かな? | 4 / 5 | 目 標 | ○欲しい食べ物を尋ねたり答えたりしようとしている。 |
| 単元のゴール 『自分のオリジナルメニューを紹介しよう!』 | | | | |
| 扱う表現 | What do you want? I want (potatoes). How many? (Two), please. Here you are. Thank you. You're welcome. | | | |
| 語彙例 | 野菜・果物(vegetable, potato, cabbage, corn, cherry),飲食物(sausage)▼【既出】What's this? It's (a fruit). Do you have a (pen)? Do you like (blue)? ▼ Yes, I do./No, I don't. I [have/don't have](a pen).果物・野菜・飲食物・数(1~60) | | | |
| 段階 | 主な学習活動及び教室英語 等 | ○HRTの支援 | ※指導上の留意点 ◎評価 ●教材/教具 等 | |
| 導入 5分 | 【Warming up】 1 はじめのあいさつをする。 Let's start today's English Class. Hello. How are you? How is the weather? ※It's sunny and hot.のように答えさせる。 What day is it today? 2 簡単なやり取りを行う。(Small Talk) A: Hello. What do you want? | ○HRT主導で行う。 ○笑顔で元気にあいさつする。 ○あいさつの場面もコミュニケーションの場面と捉え、うなずいたり反応したりしながら会話を進める。 ○欲しいくだものについて尋 | ※楽しい雰囲気作りをする。 ●掲示用カード ※あいさつや笑顔、視 | |

| | | | |
|---|--|---|---|
| | <p>H: Hello. I want strawberries. A: How many ? H: Ten , please. A: What do you want? H: I want bananas. A: How many ? H: Two , please. A: O.K. Here you are. H: Thank you. A: You are welcome. See you. H: Goodbye.</p> <p>3 単元のゴール及び本時のめあてを確認する。 Today's Goal is _____.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ほしいものをたずねたり答えたりしよう。 </div> | <p>ねるやり取りを行う。 ○簡単だが丁寧なやり取りを行い、どんな内容なのかを予想させ、発表させる。 (野菜, 果物, 数 等) ○一方通行ではなく双方向のやりとりに気付かせる。 ○どのようなときに数を尋ねるのか、考えさせたい。</p> <p>○欲しい食べ物を尋ねたり答えたりすることに興味をもたせる。</p> | <p>線に気付かせたい。 ※発表できた子を大きさに褒めるようにする。</p> <p>○学習の流れが分かるようにメニューを掲示する。 ※本時のゴールを伝える前に、単元のゴールを確認し、そのゴールを達成するために本時の活動を行うことを理解させる。</p> |
| 展開 30分 | <p>【Main Activities】</p> <p>4 オリジナルチャンツを通して、欲しいものの尋ね方を確認する。 ・H R T 及びA L T の発声をまねて繰り返す。 tomato, potato, cabbage, green pepper, corn, cherry, sausage, melon, peach, banana, apple, pineapple, cherry, strawberry, orange, kiwi fruit What do you want? I want~. How many~? O.K. Here you are. Thank you. など</p> <p>5 テレフオンゲームを行う。 ・座席の縦列ごとに伝言していく。 ・最前列の子に “I want ~.” 等をゆっくりと 3 回聞かせる。 ・次の子どもに伝言していき、列の最後列の子どもまで同様に繰り返す。 ・最後列の子が、みんなの前で伝えられた言葉を発表する。(聞こえたとおりに、発表する。) トントン ? “What do you want?” 振り向いて “I want ~.” ・最後列の子が、みんなの前で伝えられた言葉を発表する。</p> | <p>【演示：H R T & A L T】</p> <p>○H R T がワードを担当し、A L T がセンテンスを担当する。 ○リズムを体で感じ取り、チャンツを楽しむ。 ○ワードや基本構文をリズムに乗せる。</p> <p>【会話例】 Let's play the Telephone Game. Listen to me carefully. “I want ~.” (3times) Are you O.K? Let's start! ※お互いにしっかりと反応しながら、ゲームを進行していく。(コミュニケーション場面として捉える)</p> | <p>●掲示用カード ●リズムボックス ※欲しいものの尋ね方を何度も繰り返し発音させる。</p> <p>※他グループの答えは気にせず、聞こえたおりに伝える。 ※伝言する前に、 “What do you want?” と尋ね、その後、伝言することで、インタビュー活動の際のやり取りがスムーズに進むと思われる。</p> |

| | | | |
|--------------------------------|---|--|---|
| | <p>6 Let's Go Shopping を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が食べたいピザを考え、買い物を する中で欲しい食材についてやり取りを する。 1 回目の Let's Go Shopping を行う。 <p>Hello. Hello. What do you want? I want tomatoes. How many? Two please. Here you are. Thank you. Goodbye. See you. など</p> <p>・やり取りが終わったら、<u>中間まとめを行 う。</u></p> | <p>【演示:HRT&ALT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの活動前に、演 示し、活動内容を理解させ る。 ○欲しい食べ物を3種類尋ね させる。 ○協力しながら、ペアでやり とりさせる。 ○お店屋さんは3グループと ALTによるお店の4つ、 お客さんは3グループで行 わせる。 <p>※お互いにしっかりと反応し ながら、会話していく。 (コミュニケーション場面)</p> | <p>●オリジナルピザ カード</p> <p>※3種類の食材を尋ね させる。数が必要な 場合は、数も尋ねる こととする。</p> <p>●食材カード (野菜・果物)</p> <p>●ピザカード</p> <p>◎欲しい食材を尋ねた り答えたりする言い 方に慣れ親しんでい る。</p> |
| | <p>○欲しい野菜を尋ねたり答えたりできました。</p> <p>▲必要な果物を尋ねたり答えたりできたけれど、数まで聞くことができま せんでした。</p> <p>▲数を尋ねるときの言い方が、よく分かりませんでした。</p> <p>・中間まとめを生かして、その後、2回目 の Let's Go Shopping の活動を再開する。</p> | <p>○2回目の Let's Go Shopping は、お店屋さんのグループ とお客さんのグループを交 代して行わせる。</p> | |
| <p>終 末</p> <p>10 分</p> | <p>【Looking back】</p> <p>7 本時の学習をふり返る。</p> <p>How was the class? Please raise your hand. Great? / Average? / Please write your comment. What did you write?</p> <p>8 おわりのあいさつをする。</p> <p>That's all for today's English Class. Thank you for your lesson. See you next time. Let's sing "Goodbye song"</p> | <p>○2段階で評価させる。</p> <p>○ふり返りの視点を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Today's Goal が達成できたか ・できるようになったこと ・友だちのがんばり ・次の時間にがんばりたいこ と <p>○元氣よく歌わせる。</p> | <p>※会話の楽しさや新し い気付き等を記入さ せ、その後発表させ る。</p> <p>※感謝の気持ちを忘れ ずに表現させる。</p> |

8 板書計画

| | | |
|---|--|--------------|
| Greeting | 自分のオリジナルメニューを紹介しよう！ | Looking Back |
| November | Today's Goal ほしいものをたずねたり答えたりしよう。 | |
| 6 th | LT2 Unit 7-4 1 あいさつ 2 簡単なやりとり 3 めあての確認 4 オリジナルチャンツ 5 テレフォンゲーム 6 Let's Go Shopping 7 ふりかえり 8 終わりのあいさつ | Great!! |
| Friday |     | |
|  |     | Average |